

2019年度 指定管理者導入施設評価表

施設名称	須坂版画美術館・平塚運一版画美術館		所管課(TEL)	文化スポーツ課 (3621)
所在地	須坂市大字野辺1386番地8		設置年月	1991年10月竣工
施設設置目的	市民文化の向上に資するため			
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造一部木造、地上1階 延床面積863.45㎡、屋外便所28.41㎡ 展示室、小林朝治記念室、ホール、工房、燻蒸室、収蔵庫、事務室			
指定管理者名(選定方式)	一般財団法人 須坂市文化振興事業団(公募しない)			
指定期間	2019年4月1日から2024年3月31日まで(5年間)			
指定管理者の主な業務	(1) 閲覧及び工房の利用の許可並びに許可の取消し及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 観覧料等の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のために実施する事業に関する業務			
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対前年比(%)
	利用者数	—	16,908人	74.9
	(特記事項) 利用目標は、五次総後期基本計画では、毎年0.5%増を評価指標としている。			
指定管理者の 予算及び決算	項目	予算額(円)	決算額(円)	
	指定管理料			
	利用料収入			
	支出額合計			
	(特記事項) 文化会館に同じ			

2 市（担当課）による評価 （評価は非常に良い◎、良い○、やや悪い△、悪い×の4段階です。）

協定書及び指定管理者の事業計画書の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価したものです。評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

項目	指 標	評価	評価に対する説明
管理状況	開館時間、休館日の運用	◎	他の施設と休館の曜日が重ならない
	法令の遵守	◎	定款等により遵守している
	適正な人員配置	○	
	職員の労働環境確保	○	
	職員の研修・教育	○	
	文書・帳簿の管理保存	○	
	報告書等の提出	○	
	口座管理・経理	◎	適正に管理している
	施設の使用許可・条件	◎	適正に管理している
	備品の管理	◎	適正に管理している
	清掃業務	◎	適正に管理している
	環境への配慮	○	
危機管理対策	緊急事態の対応	◎	危機管理マニュアル等に対応している
	安全への配慮	◎	危機管理マニュアル等に対応している
	個人情報の保護	◎	須崎市個人情報保護条例（平成13年条例第35号）第12条の2の規定を遵守している
	施設設備の保守管理	○	
	重要事項の報告・連絡・届出	◎	主管課と密な相談をしている
	保険の加入	◎	協定書に基づき加入している
	管理物件に対する損害賠償等	○	
運営状況	施設利用状況	○	
	自主事業実施状況	◎	実践的な事業を開催している
	地域との連携	○	
	その他取組み	○	
	管理に係る収支状況	○	
	自主事業に係る収支状況	○	
	サービス向上への取組み	○	
	PR等広報活動	○	
	苦情・要望への対応	◎	アンケート等に対応している

3 利用者による評価

指定管理者が行なった利用者アンケートの結果及び、担当課に寄せられた利用者からの意見・要望等によるものです。

利用者アンケートの結果	実施時期	2019年度
	調査対象	来館者
	調査方法	アンケート用紙記入方式
	調査結果	159人回答
利用者からの意見・要望・苦情等	<p>(千体の雛祭り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お雛様一度来てみたいと思っていました。すばらしかったです。 ・干支探しが楽しかった。(2名) ・出入り口に雛人形、そして展覧会場は落ち着いた状態でとても良かったです。 <p>(版画作品について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平塚運一さんの展示が繊細で素晴らしかった。来て良かったです。 ・版画はとても地味ですが、とても心が落ち着きます。今後もずっと大切にしていきたいと思います。 ・村上早さんなどの銅版画作家の特集展があればいいなと思いました。 ・棟方志功の作品がみたいです。(3名) ・畦地梅太郎の展覧会 ・前川千帆の展覧会 ・マッチのラベル展やちょっと小さな作品が集まればおもしろそう。 ・平塚運一の作品集や、収蔵品集のようなものは発行しないのでしょうか。 	

4 指定管理者による自己評価

指定管理者自身による自己評価です。

2019年度の自己評価	<ul style="list-style-type: none">・常設展示として15事業（昨年度11）を実施したほか、企画展示では「追悼 島州一版画展」を開催。2018・2019年度市町村立美術館活性化事業で巡回展「はなが遊園地」を開催。それぞれ展示に合わせ2種類のワークショップを行った。・学習支援事業とし32事業（昨年度30）を実施した。一般向け、小学生向けの事業を実施。小学校への出前授業 8回実施。昨年度より園児を対象にした事業を追加。リピーターも増え、定着し始めている。・市内小学校選抜の版画作品展を開催し、約200点を展示。各賞の入賞者には賞状を寄与。版画へのさらなる関心や制作意欲の向上を図った。・アトリエ作品展を開催。版画教室参加者やアトリエ利用者の作品をサークルの発表の場として展示。
-------------	--

5 市（所管課）による総合評価

<ul style="list-style-type: none">・2015年度以降入館者数は減少。2018年度はほぼ横ばいとなったが、2019年度で再び減少となった。・幼児、小学生などにワークショップを行い、版画に親しむ機会を設けている。・入館者数の増減は人形美術館と同様の動き。・独自のイベントなどを工夫し開催しているため、更なる広報を行い、参加者増を図りたい。・版画以外の企画展示について市の要望を検討されたい。
--